



平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月10日

上場会社名 株式会社 ケアネット 上場取引所 東
 コード番号 2150 URL http://www.carenet.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 勝博
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 一政 利郎 TEL 03-5214-5800
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績（平成30年1月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	1,420	12.4	239	15.8	213	5.7	131	△23.3
29年12月期第2四半期	1,263	29.9	206	476.4	202	938.5	171	848.7

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 132百万円 (△22.8%) 29年12月期第2四半期 171百万円 (692.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	12.18	—
29年12月期第2四半期	15.83	—

(注) 当社は平成29年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第2四半期	2,638	1,979	75.1	183.47
29年12月期	2,778	1,904	68.5	176.57

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 1,979百万円 29年12月期 1,904百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	6.00	6.00
30年12月期	—	0.00	—	6.00	6.00
30年12月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年12月期の連結業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	5.1	450	10.3	442	8.5	295	△36.4	27.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期2Q	11,048,000株	29年12月期	11,048,000株
② 期末自己株式数	30年12月期2Q	256,347株	29年12月期	263,298株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期2Q	10,796,122株	29年12月期2Q	10,820,158株

（注）当社は平成29年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成29年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や民間企業の設備投資などの国内需要も持ち直しており、景気は緩やかな回復基調で推移しておりますが、アメリカの政策不安の影響、北朝鮮や中東における地政学的リスクの高まりなど、先行きは不透明な状況にあります。

当社グループの主要顧客が属する製薬業界においては、大型薬剤の特許切れや薬価制度の変更、ジェネリック医薬品の使用促進などに直面し、製薬企業の営業環境は、厳しい状況が続いております。そのため、製薬企業は、新薬の研究開発や営業・マーケティング活動において、さらなる生産性向上を求めています。また上市される新薬の中心が、生活習慣病治療薬からスペシャリティ医薬品に移り変わると予想されるため、製薬企業はスペシャリティ医薬品に合った新たなプロモーション方法を必要としております。

こうしたニーズに対応するサービスを提供するなか、当第2四半期連結累計期間においては、売上高1,420百万円（前年同四半期比12.4%増）、売上総利益867百万円（前年同四半期比13.2%増）、営業利益239百万円（前年同四半期比15.8%増）、経常利益213百万円（前年同四半期比5.7%増）となりました。一方で、税務上の繰越欠損金の解消に伴う法人税、住民税及び事業税の計上により、親会社株主に帰属する四半期純利益は131百万円（前年同四半期比23.3%減）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

①医薬営業支援サービス

当サービスにおいては、既存サービスの販売体制強化などの取り組みを進めるなか、医薬営業支援サービスの売上高は1,224百万円（前年同四半期比15.8%増）、営業利益は513百万円（前年同四半期比28.8%増）となりました。

②医療コンテンツサービス

当サービスにおいては、医師向け教育コンテンツ「ケアネットDVD」及び「その他」の売上高は85百万円（前年同四半期比14.1%減）、医療教育動画サービス「C a r e n e T V」の売上高は110百万円（前年同四半期比3.5%増）となりました。

この結果、医療コンテンツサービスの売上高は195百万円（前年同四半期比5.0%減）、営業利益は73百万円（前年同四半期比10.6%減）となりました。

また、医師・医療従事者向け医療専門サイト「ケアネット・ドットコム（CareNet.com）」においては、医師会員獲得および維持を目的に、前期に引き続き積極的に投資を行っております。これにより、当第2四半期連結会計期間末の医師会員数は14万1千人（前年同四半期比4.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ140百万円減少の2,638百万円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ118百万円減少の2,433百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金150百万円の減少によるものであります。

また、固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ22百万円減少の204百万円となりました。これは主に、無形固定資産11百万円の減少、投資その他の資産10百万円の減少によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ215百万円減少の658百万円となりました。

流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ216百万円減少の643百万円となりました。これは主に、前受金89百万円の減少、役員賞与引当金51百万円の減少によるものであります。

また、固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ0百万円増加の14百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ75百万円増加の1,979百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ57百万円増加の1,758百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、164百万円（前年同四半期は598百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益213百万円の計上、ポイント引当金の増加31百万円、売上債権の減少150百万円などによる資金の増加と、役員賞与引当金の減少51百万円、前受金の減少89百万円、法人税等の支払額69百万円などによる資金の減少との差引によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は、4百万円（前年同四半期は4百万円の支出）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出2百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は、99百万円（前年同四半期は73百万円の支出）となりました。これは、自己株式の取得による支出34百万円、配当金の支払額64百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、平成30年2月13日に公表いたしました業績予想と差異が発生しております。詳細は平成30年8月10日公表の「第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異に関するお知らせ」をご参照ください。また、平成30年12月期通期連結業績予想につきましては、平成30年2月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,800,485	1,858,466
受取手形及び売掛金	485,810	335,483
たな卸資産	26,763	32,619
前払費用	24,834	48,287
繰延税金資産	123,060	132,726
その他	91,009	26,164
流動資産合計	2,551,964	2,433,748
固定資産		
有形固定資産	11,214	11,649
無形固定資産	59,113	47,410
投資その他の資産	156,065	145,252
固定資産合計	226,393	204,311
資産合計	2,778,358	2,638,060
負債の部		
流動負債		
買掛金	54,403	31,554
未払法人税等	69,297	108,258
前受金	106,432	16,730
役員賞与引当金	65,000	13,215
ポイント引当金	306,507	338,071
その他	257,787	135,505
流動負債合計	859,428	643,335
固定負債		
資産除去債務	14,693	14,800
固定負債合計	14,693	14,800
負債合計	874,121	658,136
純資産の部		
株主資本		
資本金	627,045	627,045
資本剰余金	509,682	537,042
利益剰余金	874,331	941,067
自己株式	△103,701	△122,922
株主資本合計	1,907,358	1,982,232
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,478	1,698
為替換算調整勘定	△4,600	△4,007
その他の包括利益累計額合計	△3,122	△2,309
純資産合計	1,904,236	1,979,923
負債純資産合計	2,778,358	2,638,060

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	1,263,841	1,420,562
売上原価	496,933	552,711
売上総利益	766,908	867,851
販売費及び一般管理費	560,206	628,511
営業利益	206,701	239,339
営業外収益		
受取利息	93	239
受取手数料	2,284	2,000
雑収入	2,124	2,353
営業外収益合計	4,503	4,592
営業外費用		
支払利息	643	77
為替差損	5,286	3,603
貸倒引当金繰入額	—	25,882
支払補償費	2,403	—
雑損失	343	370
営業外費用合計	8,677	29,933
経常利益	202,527	213,998
税金等調整前四半期純利益	202,527	213,998
法人税、住民税及び事業税	31,105	96,042
法人税等調整額	110	△13,487
法人税等合計	31,216	82,554
四半期純利益	171,311	131,443
親会社株主に帰属する四半期純利益	171,311	131,443

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日）
四半期純利益	171,311	131,443
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	82	219
為替換算調整勘定	△172	593
その他の包括利益合計	△89	813
四半期包括利益	171,222	132,256
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	171,222	132,256

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成29年1月1日 至平成29年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成30年1月1日 至平成30年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	202,527	213,998
減価償却費	15,102	15,169
貸倒引当金の増減額（△は減少）	—	25,882
受取利息及び受取配当金	△93	△239
支払利息	643	77
為替差損益（△は益）	5,286	3,603
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△31,000	△51,784
ポイント引当金の増減額（△は減少）	39,200	31,564
売上債権の増減額（△は増加）	188,826	150,326
たな卸資産の増減額（△は増加）	△8,311	△5,855
仕入債務の増減額（△は減少）	△7,420	△22,848
未払金の増減額（△は減少）	△15,954	△38,280
未払消費税等の増減額（△は減少）	△11,224	△30,742
未払費用の増減額（△は減少）	△44,191	△59,626
前受金の増減額（△は減少）	276,682	△89,702
その他	29,532	92,322
小計	639,606	233,865
利息及び配当金の受取額	93	250
利息の支払額	△643	△77
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△40,329	△69,298
営業活動によるキャッシュ・フロー	598,727	164,740
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,600	△1,510
無形固定資産の取得による支出	△165	△2,808
差入保証金の差入による支出	△1,456	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,222	△4,318
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△30,343	△34,981
配当金の支払額	△43,228	△64,446
財務活動によるキャッシュ・フロー	△73,571	△99,427
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,503	△3,013
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	515,430	57,980
現金及び現金同等物の期首残高	1,129,553	1,700,485
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,644,983	1,758,466

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬営業 支援サー ビス	医療コン テンツ サービス	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	1,057,911	205,930	1,263,841	—	1,263,841
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,057,911	205,930	1,263,841	—	1,263,841
セグメント利益	398,672	82,090	480,763	△274,061	206,701

(注) 1. セグメント利益の調整額△274,061千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用（報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費）であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬営業 支援サー ビス	医療コン テンツ サービス	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	1,224,897	195,665	1,420,562	—	1,420,562
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,224,897	195,665	1,420,562	—	1,420,562
セグメント利益	513,486	73,355	586,841	△347,502	239,339

(注) 1. セグメント利益の調整額△347,502千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用（報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費）であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。